

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（31） 学校名 豊田市立岩倉小学校

1 テーマ

地域のよさを体感し、人とかがわり合って、ともに学ぶ子
～地域の「ひと・もの・こと」に関わる体験を通して～

2 ねらい

- ①地域講師・教材等、地域の学習素材を活用した「学び合い」の学習を通して、地域の歴史・文化、自然の豊かさや大切さに気付かせる。
- ②学校の教育活動と地域とのつながりを深めることで、児童には地域を愛する心を育て、地域の方々には、児童を地域で育てていこうとする機運を高める。
- ③心の相談員や体力向上補助指導員との関わりを通して、心身ともに健康でたくましく活動する児童を育む。

3 活動内容

- ① 1年生は昔遊び体験活動、2年生は梅ジュースづくりや学区探検での地域の施設や地域で働く人々へのインタビュー活動、3年生は大豆などの栽培活動や松平高校との調理交流を行い、学んだことを学習発表会等で保護者や地域の方へ情報発信した。
- ② 4年生は巴川への稚鮎放流、校内の樹木調査とプレートづくり、敷地内の竹を利用した竹炭づくりなどの環境学習を通して、岩倉の自然環境のすばらしさに気付き、自分たちの住む岩倉の自然を守るためにはどのような活動をしたらよいのかを考え発信した。
- ③ 5年生は「地産地食」をテーマに、地域講師を招聘し、シイタケの栽培活動を行った。米作りでは、自分たちで種粃を発芽させるところから米の収穫までの活動を行い、社会科と関連付けて食の大切さや栽培の苦労などについて学んだ。また、6年生を送る会の企画・運営を通して岩倉小の最高学年に向けての自覚を育んだ。
- ④ 6年生は、「ふるさと松平の歴史や文化を受け継ぐ私たち」をテーマに、松平地区の歴史や文化について、資料等を活用して調べ、学習発表会で地域や保護者に発信した。また、卒業プロジェクトの一環として、ボランティアさんへの感謝を伝える会を企画・実施したり、奉仕活動に取り組んだりして、愛校精神を育む活動を展開した。
- ⑤ 心の相談員を活用し、不登校児童の見守りや休み時間のふれあい、保護者への相談活動や授業等での支援を通して児童の心の安定を図った。
- ⑥ 体力向上補助指導員を活用し、特に低学年、特別支援学級の体育の授業補助を通して、児童の体力向上を図った。

4 成果と課題

(1) 成果

- ①心の豊かな人間性の育成を図ることができた。
- ②地域の自然の豊かさや良さ、歴史、地域を活性化させる活動について学び、地域への関心を高めるとともに郷土愛を深めることができた。2年生の梅ジュースづくりでは、日頃お世話になっているボランティアさんも招いてふるまうなど、地域との関わりをより深めることができた。

「保護者アンケート」(外部評価)の、「No.5 特色ある教育活動を行っているか」では、とてもよい、よいという回答が約89%あり、昨年度同様多くの保護者から承認を得ていると考えられる。また、「子どもたちが主体的に取り組めるようサポートしていただきありがとうございます。地域を学ぶ機会があることがいいです」等の意見を寄せていただき、保護者が本活動を称賛していることがうかがえる。

(2) 課題

地域学校共働本部との連携によって、ひと、もの、ことの地域資源を工夫して有効活用することができた。しかし、栽培活動において、熱中症等の心配や鳥獣被害により校外での活動が制限されてしまい、今後も状況によっては活動が難しくなる学習もある。保護者アンケートで「わからない」と答えた保護者は5%と減り、以前よりは活動の様子が伝わっていることがうかがえるが、「HPでより多くの様子を伝えてほしい」との意見もあり、さらに分かりやすい情報発信を心掛けたい。

(3)「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことによる成果

・心の相談員

- ① 様々な理由から教室に入ることが難しい児童の話をよく聞いていただき、児童の心の安定を図ることができた。
- ② 担任には話づらいことを相談に来る児童や、もっと話を聞いてほしい児童への相談活動を行い、担任との連携を密にすることで、児童の心を安定させる部分の教員の負担を軽減することができた。
- ③ 担任の依頼を受けて、心配な児童の様子（現状とその後）を観察していただき、情報交換を適切に行うことで、児童に合った支援を行うことができた。

・体力向上補助指導員

教科体育の中で児童の体力の向上のさせ方について、支援や指導方法を相談したり、一緒に活動したりした。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・活動を行った際には、学校HPにて取組を紹介した。(実施月、全学年)
- ・授業参観や学習発表会において、特色ある学校づくり推進事業に関わる公開授業を行い、保護者に参観していただいた。(全学年)
- ・学校だより(2~3か月に1回)や学年通信(毎月)に、取り組み内容を掲載し、地域や保護者へ配付・回覧した。